

# 夏物語

エリック・ロメール監督作品 1996年 カンヌ国際映画祭 公式部門 [ある視点] クロージング作品

出演:メルヴィル・ブポー、アマンダ・ラングレ、グウェナエル・シモン、オーレリア・ノラン 監督・脚本:エリック・ロメール 提供:マーガレット・メネゴス 製作:フランソワーズ・エチュガレイ 撮影:ディアヌ・バラティエ 録音:パスカル・リビエ 編集:メアリー・スティーヴン 製作:LES FILMS DU LOSANGE, LA SEPT CINEMA 後援:東京ルネッサンス推進委員会/フランス大使館文化部/東京日仏学院 協賛:小林芸社/グラン マニエ/UCカードグループ /FamilyMart/無印良品/西友フォートサービス/LE NOÛTRE (順不同) フランス/1996年/1時間54分/カラー/ビスタサイズ 配給:シネセゾン 提供:シネセゾン/アスミック

## CONTES DES QUATRE SAISONS CONTE D'ÉTÉ



◎ふとしたことからレストランでバイトをするマルゴ(アマンダラングレ)と知り合う。

◎恋人とのヴァカンスをディナーで過ごすためにやってきたガスパール(メルヴィルブポー)

◎でも、恋人はなかなか現れない。

# 夏

エリック・ロメール監督の最新作『夏物語』は  
“四季の物語”シリーズの～夏篇～にあたり  
恋人を待つ時間のたわむれる波のようなひとこまを  
渚の思い出としてみずみずしく綴っていく。



ロメール監督待望の《四季の物語》シリーズ第3弾「夏物語」は、同監督がもつとも得意とする「夏」をテーマに、大西洋に面した有名な保養地ディナールを舞台に繰り広げられる。ディナールのあるブルターニュ地方は、いまだにブルトンの文化の色濃く、フランスのもうひとつの顔といわれるほど特異な歴史をもっているが、またその反面、ベルエポックと呼ばれる1920年代には、英米人をはじめ多くの芸術家が夏の光を求めてバカンスを楽しんだ場所でもある。とくに1920年から29年の夏にピカソがここでバカンスを過ごし、多くのデッサンを残したことはよく知られている。今年のカヌ国際映画祭公式部門（ある視点）のクロージング作品に選ばれた『夏物語』はこの陽光輝くブルターニュの夏の光の中で、今や恋愛心理を撮らせたら右にでるものがないロメール監督が、恋人を待つ時間のたわむれる波のようなひとこまを、フランスの若者たちの渚の思い出としてみずみずしく綴っていく。

ロメール監督といえば、これまでに「六つの教訓劇」や「喜劇とことわざ」の連作シリーズで知られているが、もう一方で、バカンス映画といえばロメールといわれるぐらいの作品には、バカンスが重要な位置をしめるとくに長編処女作である『獅子座』は、バカンス中の空虚なパリでなければ成立しない話だし、ノルマンディの海岸を舞台にした『海辺のポーリーヌ』や各避暑地をめぐる『緑の光線』などは女性が主人公ではあつても、まさにバカンスが主役といつていいほどだ。今回公開される『夏物語』は《四季の物語》シリーズ5年ぶりの新作となるが、ロメール映画の真骨頂ともいえるバカンス映画の決定版である。主演はメルヴィル・ブポー。ナイーブな若者ガスパールを好演し、今フランスでも最も注目を集めている。そして今回はとくに『海辺のポーリーヌ』のポーリーヌ役以来、13年ぶりのロメール映画への出演となるアマンダ・ラングレが、レストランでバイトをする大学生マルゴをナチュラルで知的に演じている。

# 物



# 話



夏といえばバカンス。  
そしてフランス人はバカンスを楽しむ達人。  
エメラルドグリーン的大海とサンドベージュの砂浜が  
美しいリゾート地ディナールを  
舞台に繰り広げるバカンスの日々。

CONTES DES QUATRE SAISONS  
CONTE D'ETE

バカンスをディナールで過ごすためにやってきたガスパール(メルヴィル・ブポー)は、ここで恋人と落ち合い、約束のウエッサン島へ渡る予定を立てている。ただ、落ち合う日までは、まだ時間がある。恋人を待つ間、ふとしたことからクレーブ専門店でバイトをするマルゴ(アマンダ・ラングレ)と知り合う。彼女は民族学を研究する学生で、夏の間だけ叔母の経営する店でアルバイトをしていた。何度かことは交わすうちにふたりは自然とデートをかきねるようになる。

そんなある日、ガスパールは自分にはレナ(オーレリアノラン)という恋人がいて、ここディナールで落ち合い一緒にウエッサン島へ行く予定だとマルゴに告白する。しかし、彼女の到着は遅れていてこのプランもなかなか進まない打ち明ける。そんなガスパールを見かねてマルゴはデイスコへ連れ出した。そこで、ガスパールはルーヌ(グウェナエル・シモン)という魅力的な女性と知り合う。彼女は週末だけディナールに遊びに来ていた。潮騒の音をききながら恋人を待つはずだったガスパールの心に、少しだけ夏がきらめく…

8月24日(土)独占ロードショー!

特別鑑賞券1,400円絶賛発売中

(当日一般1,700円・学生1,400円<税込>)  
特別鑑賞券は劇場窓口、都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあにてお求めください。

●当劇場窓口で特別鑑賞券をお買い求めの方に、特製ポストカードプレゼント! ●毎金曜19:00の回、グランマニエのカクテルサービス有り(公開中)

『モンソーのパン屋の女の子』『シュザンヌの生き方』モーニングショー決定!! (8/23(金)より詳細は劇場迄)

CINE VIVANT

シネ・ヴィヴァン・六本木

地下鉄六本木駅1番出口WAVE地下1階 ●03(3403)6061

連日 12:00 2:20 4:40 7:00

●自由席定員制・入替制